

(5) 令和7年度の取組状況

令和7年度取組

阿南市

阿南市総合防災訓練

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

- ⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 【阿南市】

地域住民の皆様の避難所運営に関わる見識を高めていただくため、関係機関、事業者様のご協力のもと、令和7年10月26日(日)に羽ノ浦スポーツセンターで 南部総合県民局と共催し、避難所開設・運営訓練を実施しました。

スクリーニング
訓練ペット同行
訓練

車中泊訓練

医療救護
訓練

令和7年度取組

阿南市

阿南市総合防災訓練

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

- ⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 【阿南市】

地域防災力などの向上を目的に、周辺住民の皆様や、公的機関及び地域企業の協力のもと、橘・福井地区を対象に、令和7年11月30日(日)橘港小勝緑地ソフトボール場において訓練を実施しました。合わせて、見能林・橘・福井地区の広域で、約800名が津波避難訓練を実施しました。

避難者報告
訓練ロープワーク
訓練

救出訓練

炊き出し
訓練

令和7年度取組

阿南市

小児慢性特定疾病患者を対象とした個別避難計画に基づく避難訓練

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑬ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・支援及び訓練の促進

【阿南市】

人工呼吸器等の常時使用が必要な小児慢性特定疾病患者について、大雨による桑野川の氾濫を想定した避難所内における垂直避難訓練を実施。

行政・医療関係者だけにとどまらず、消防団、民生委員等地域住民の参加の下、垂直避難時の手順を確認しました。



令和7年度取組

阿南市

大規模災害時における断水対策

■ 取組

2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

(2) 大規模工場等の自衛水防の推進に関する事項

③ 行政機関、災害拠点病院等の水害時の対応等を検討

【阿南市】

OWOTA BOXシャワーシステムの導入

水道が使えない場所での水利用を実現する、ポータブル水再生システムであるWOTA BOXシャワーシステムを導入。排水の約98%を再生して循環利用を可能にすることで、大規模水害時における断水時において、安全・安心な水による快適な入浴環境の整備を行いました。



令和7年度取組

那賀川流域地域での水害リスク勉強会の開催

小松島市

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

- ⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 **【小松島市】**

- ・那賀川河川事務所による、那賀川に特化した講演会を流域の地区で実施。
- ・「水害リスク勉強会」として那賀川の水災害の特性やダムについて、災害時の情報取得の方法についてなど、各地区の特徴も踏まえながら住民へ周知を行うことで、水災害を自分事としてとらえ、流域治水に関する意識の醸成を期待する。



「流域治水」とは、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加進させるとともに、さらに集水域（雨水が河川に流入するエリア）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア）にわたる流域に関わる全員で水災害対策を行う考えです。

全員で
水災害対策

対策の3つ柱

- ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

令和7年9月8日(月) 和田島サロン



令和7年11月21日(金) 櫛淵公民館



令和7年度取組

福祉避難所への避難訓練の実施(医療的ケア児)

小松島市

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

- ⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 **【小松島市】**

・実施プログラム

- 【第1部】 オリエンテーション(訓練説明、本人の体調や在宅医療の状況等を説明)
- 【第2部】 福祉避難所への避難訓練
- 【第3部】 福祉避難所の運営(避難予定の福祉避難所の受入れ体制、備品や給電に関する訓練、医療的ケア訓練)

・参加者

本人、家族、徳島県医療的ケア児等支援センター、福祉避難所、徳島赤十字病院、徳島大学病院、各関係訪問看護事業所等、小松島警察所、民生委員、地区自主防災会、地区協議会、市介護福祉課、市危機管理政策課



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和7年度取組状況

那賀町

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(2) 情報伝達、避難計画等に関する事項

⑥住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信 【那賀町】

町営ケーブルテレビ放送による防災情報の配信

大雨による災害警戒時に、那賀町ケーブルテレビの自主放送により、雨量データ、ダム放流量、ライブカメラ映像などの防災情報をわかりやすく配信している。令和7年度からは、ライブカメラ映像を平時から放映し、防災情報と別チャンネルで放送している。

ch111



ch112

那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和7年度取組状況

那賀町

■ 取組

2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

(1) 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

⑤自主防災組織等の水防活動への参画を促進し、関係機関が連携した水防訓練の実施 【那賀町】

避難所開設訓練の実施

大規模災害時に住民自らで避難所開設ができることを目的として該当地域の住民を対象に避難所開設訓練を実施した。

日時: 令和7年12月7日(日)

場所: 那賀町B&G体育館

参加者: 60名



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和7年度取組状況

那賀町

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

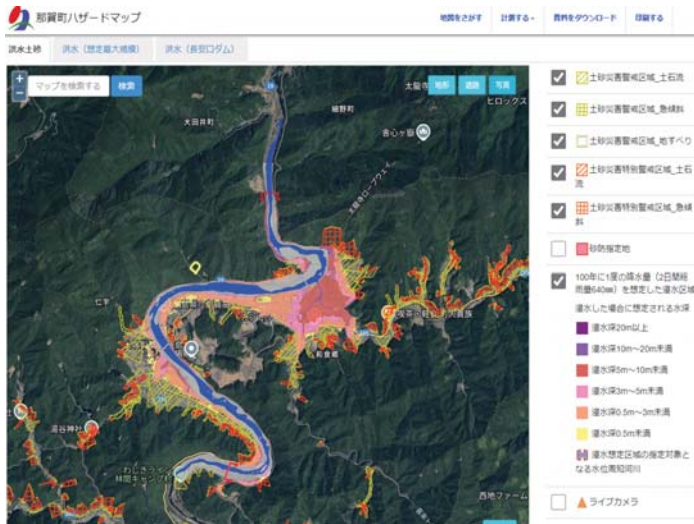
③ 想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの作成

【那賀町】

那賀町ハザードマップを活用した自主防災会研修

各地区自主防災会組織において那賀町ハザードマップを活用した研修会を実施

那賀町自主防災会 組織率94% 組織数124



【相生雄地区研修】

日時：令和8年2月15日(日)
場所：那賀町雄公民館
参加者：57名

那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和7年度取組状況

徳島県

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

① 想定最大規模降雨等による洪水を対象とした浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーションの公表

⑦ 地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施

⑧ 住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信

【徳島県】

<水害リスク情報空白域の解消>

・全ての県管理河川で
洪水浸水想定区域図を「作成・公表」

R7年度内：56河川公表（全488河川完了）



延野川(那賀町)



芝生川(小松島市)

<住民目線に立った情報発信>

・ダム放流開始の通知
徳島県公式LINEによるPUSH型自動配信



<防災出前講座の実施>

・避難の実行性を高めるため、
V R 動画等を活用した水害についての基礎知識の学習やファミリータイムラインの作成を支援



横見小学校の児童が参加

出前講座による防災学習



中野島小学校の児童が参加

VR動画で外水・内水氾濫を疑似体験



那賀川水系大規模氾濫減災協議会 令和7年度取組状況

徳島県

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

- (1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項
 - ②地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施。
- 2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組
 - (2) 大規模工場等の自衛水防の推進に関する事項
 - ③行政機関、災害拠点病院等の水害時の対応等を検討。

【徳島県】

<水災害に関する減災会議> 5月開催

- ・「頻発化」する水災害の教訓を踏まえ、避難情報を発信する市町村と「避難判断」に関する「防災情報」を共有、確実な避難行動に繋げ「被害の最小化」に取組



<例・三谷川> 5・7・9月開催

- ・説明会やフィールドワークを実施（地域住民参加）
「水害リスク」や「浸水被害を軽減する対策」を共有



支援制度創設

河川区域での放置艇対策

土砂災害警戒区域の新たな指定



1. 「土砂災害警戒区域」の新たな指定に向けた取組



<令和8年度県予算案> ※議会提案中

- 雨水の流出抑制対策への事前準備
 - ① **田んぼダムの推進**（水田を活用して雨水の一時貯留）
 - ・「排水堰の設置」や「あぜの維持補修」等に要する経費に対して県と市町村で「全額補助」
 - ② **雨水貯留浸透施設の整備**（流出抑制施設）
 - ・大規模から小規模施設まで、規模に応じて整備に要する経費に対して「一部補助」

令和7年度取組

徳島地方气象台

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

- (1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項
 - ⑥効果的な水防災意識社会再構築に役立つ広報や資料を作成

【徳島地方气象台】

① 常時接続を用いた市町村への解説

气象台が県内で広く防災対応が必要な気象状況を予測し、自治体の支援が必要と判断した場合、常時接続で気象解説を行い、リアルタイムの防災気象情報を提供する。

② アンケートフォームによる振り返りの実施

アンケートを用いて災害の振り返りを実施し、災害発生時の対応を自治体と共同で振り返る。この振り返りを通じて、防災気象情報や自治体支援の改善を図る。

③ 各種防災訓練やイベント等への参加

警戒レベル相当情報の体系整理

◎ シンプルでわかりやすい 情報体系・名称に整理

【洪水】

氾濫による社会的な影響が大きい洪水予報河川、の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。

これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨】に関する情報とする。

これに当たり、警戒レベル4相当の**【大雨】に関する情報**の対象となる河川、および**氾濫の対象地域の選定**を各自治体担当にお願いし、取りまとめている。

発表単位	洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※1	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
	氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫	内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫		
5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

令和7年度取組

国土地理院

災害時における地理空間情報の提供

- 取組 1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
 (1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項
 ⑫防災教育の促進

【国土地理院】

- 令和7年8月6日からの大雨では、国土地理院が撮影した空中写真から、「斜面崩壊・土石流・堆積分布図」を作成して関係機関に提供するとともにホームページ上に公開しました。



令和7年度取組

国土地理院

「重ねるハザードマップ」のデータ更新

- 取組 1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
 (1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項
 ⑫防災教育の促進

【国土地理院】

- 国土交通省が運営するハザードマップポータルサイトの「重ねるハザードマップ」において、指定緊急避難場所のデータを更新しました。

指定緊急避難場所データを更新

市区町村名	初回公開日	最終更新日
小松島市	2017-02-22	2025-10-08
阿南市	2017-02-22	2025-01-23
那賀町	2017-12-18	2025-05-13

重ねるハザードマップ ~自由にリスク情報を調べ~ | 検索: 茨城県つくば市北郷1 | 国土地理院

選択中の情報

- 災害種別で選択
 - 洪水・内水
 - 土砂災害
 - 高層
 - 津波
 - 避難所
 - 地形分類
- 気象データに関する留意事項
 - すべての情報から選択
- 選択情報のリセット

指定緊急避難場所

災害リスク情報

この付近では、最悪の場合、洪水による浸水が発生してその深さが5メートルから10メートルになることが想定されています。水害発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ早期に立退き避難することが必要です。ただし、想定される浸水の深さより高い場所に住んでいる場合、浸水が解消するまで我慢でき、水や食料などの備えが十分であれば屋内で安全を確保することも可能です。避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

この付近では、最悪の場合、津波による浸水が発生してその深さが50センチメートルから3メートルになることが想定されています。これは床上浸水に相当する深さです。津波発生のおそれがある場合には、浸水が想定されない場所へ直ちに立退き避難することが必要です。避難場所や避難経路などについてはお住まいの地域のハザードマップをご確認ください。

ハザードマップを見る

△ 選択した地点とその周辺で最も危険な災害リスク情報を表示しています。また、掲載情報は今後更新される可能性があります。詳細は注意事項をご確認ください。

住所検索に戻る ホームへ戻る

ハザードマップポータルサイト 使い方 よくある質問 利用規約/オープンデータ配信

身のまわりの災害リスクを調べる

重ねるハザードマップ

地域のハザードマップを閲覧する

わがまちハザードマップ

洪水・土砂災害・高層・津波のリスク情報、避難所情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示します。

市町村が法令に基づき作成・公開したハザードマップへリンクします。

住所から探す 住所を入力することで、その地点の災害リスクを調べることができます

現在地から探す 現在地から探す

地図から探す 地図を見る

災害の種類から選ぶ

洪水 土砂災害 高層 津波

https://disaportal.gsi.go.jp/

国土交通省 企画課・国土保土局 防災課 〒100-8918 東京都千代田区霞が関1-3 (代表電話) 03-5253-8111
 国土地理院 応用地理部 地理情報総務課 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番地 (代表電話) 029-864-1111

Copyright (C) Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism of Japan.

20m~
10~20m
5.0~10m
3.0~5.0m
0.5~3.0m
0.0~0.5m

サイトの新機能として、地点の災害リスク情報がわかりやすく表示できるようになりました。

令和7年度取組 自然災害伝承碑の取組

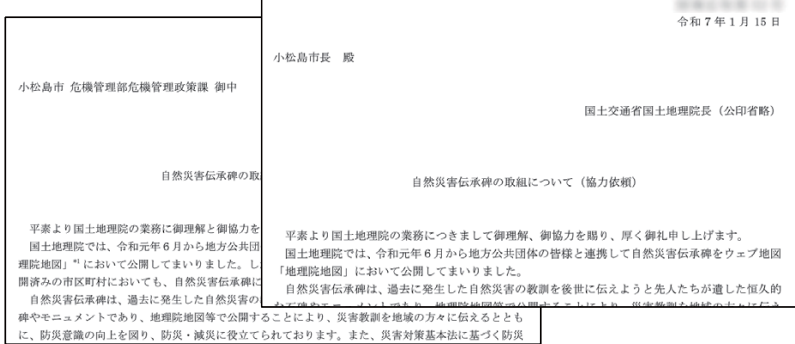
国土地理院

- 取組 1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
 - (1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項
 - ⑫ 防災教育の促進

【国土地理院】

○ 過去に起きた災害の情報を伝える石碑やモニュメントである自然災害伝承碑について、活用の普及啓発や、新たな碑の地理院地図などへの掲載に向けた取組を行いました。

● 掲載に向けた協力依頼の発出(令和7年1月15日)



● 活用事例をホームページに掲載



● 「令和7年度 四国防災トップセミナー」(令和8年1月21日開催)での普及啓発



<https://www.gsi.go.jp/sikoku/denshouhi.html>

令和7年度取組状況 防災に関する広報(防災パネル展)

四国地整

- 取組 1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組
 - (1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項
 - ⑥ 効果的な水防災意識社会再構築に役立つ広報や資料を作成

【四国地整】

那賀川河川事務所では、9月1日から9月5日まで、「阿南市役所1階 多目的スペース」にて「阿南市防災パネル展」に出展しました。南海トラフ巨大地震をテーマとし、地震および津波による被害想定、那賀川・桑野川における地震津波対策の考え方や、堤防整備などの国土交通省の事業紹介を説明したパネルを展示しました。

また、防災情報やイベント情報にアクセスしやすいよう、公式SNS(「事務所ホームページ」「X(エックス)」)や、那賀川・桑野川に関する防災情報ウェブサイトのQRコードを集約したチラシを作成し、イベントや出前講座等で広く配布しました。

防災・イベント情報を集約したチラシ作成



阿南市防災パネル展(全景)



阿南市防災パネル展(パネル展示)

令和7年度取組状況

四国地整

防災訓練への参加(災害対策支援機械展示・防災パネル展) 阿南市

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

- ⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 【四国地整】

10月26日(日)に避難所開設・運営訓練、11月30日(日)に総合防災訓練にそれぞれ出展し、待機支援車、排水ポンプ車、水害に関するパネル展示を行いました。

災害時に活躍する車両に実際に触れていただき、災害設備の目的や役割について理解を深めていただくことができました。

また、那賀川下流域における水害リスクや、流域治水推進の紹介、R7.9に公表された津波浸水想定などパネルを展示・説明し、水害に対する意識向上を図る取り組みを実施しました。

避難所開設・運営訓練(10月26日)



排水ポンプ車展示



防災パネル展示

総合防災訓練(11月30日)



防災パネル展示



待機支援車展示

令和7年度取組状況

四国地整

防災訓練への参加(災害対策支援機械展示・防災パネル展) 小松島市

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

- ⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 【四国地整】

10月26日(日)に小松島市総合防災訓練にブース出展し、待機支援車、水害に関するパネル展示を行いました。

災害時に活躍する車両に実際に触れていただき、災害設備の目的や役割について理解を深めていただくことができました。

また、那賀川下流域における水害リスクや、流域治水推進の紹介、R7.9に公表された津波浸水想定などパネルを展示・説明し、水害に対する意識向上を図る取り組みを実施しました。



防災パネル展示



待機支援車展示

令和7年度 取組状況 防災教育に関する勉強会(流域住民・企業団体向け)

四国地整

取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施
【阿南市】 【小松島市】 【那賀町】 【徳島県】 【四国地整】

那賀川河川事務所では、流域住民に対し「那賀川流域の概要と流域治水」のテーマで那賀川の概要や身近に迫る水害リスクを説明しています。令和7年度は過去の水害や治水の経緯を通して、頻発・激甚化する大水害への対応としての流域治水の考え方について、地域自主防災会・町内会・消防団・企業・団体・教育関係者等を対象に22回の勉強会を開催しました。

令和4年度から始まった本取組は、2月末時点で全73回開催、累計参加人数が約2,300名となりました。

流域住民の水害リスクの理解と流域治水プロジェクトを確実に実践・深化させていくため、関係機関と連携し引き続き取組を進めていきます。

勉強会の主な内容

1. 那賀川流域の水災害に係る特性
2. 治水の経緯と水害リスク
3. 近年の水災害対策(流域治水)について
4. もし堤防が決壊すれば？【浸水ナビ】
5. スマホなどによる防災情報の収集



勉強会の様子



流域企業での説明会

消防団幹部研修会

地元小学校での出前授業

勉強会開催状況

開催日	対象機関	参加者数	開催日	対象機関	参加者数
7月21日	那賀川工業用水利水者協議会	約30名	9月19日	阿南市幼小中学校防災担当研修会	約60名
7月29日	阿南商工会議所/水環境研究会	約50名	9月28日	那賀川を学ぶ講座	約30名
10月12日	阿南商工会議所/女性会	約10名	9月30日	阿南商工会議所	約30名
10月14日	辰巳工業団地立地企業等連絡会	約30名	10月9日	善福小学校	約30名
11月22日	徳島県農業振興センター/アグリリサーチタスクフォース	約30名	10月26日	那賀川を学ぶ講座	約30名
12月3日	那賀川アフターフォーラム総会	約20名	10月27日	那賀川町三津地区自主防災会	約15名
2月8日	阿南消防士会/役員会	約10名	11月9日	那賀川を学ぶ講座	約30名
2月23日	大野町防災連合会	約50名	11月20日	大野小学校	約20名
3月3日	日産化学工業(株)	約80名	11月22日	徳島県商工会議所女性会連合会研修会	約60名
3月6日	王子製紙(株)	約20名	12月3日	富岡地区	約10名
3月12日	那賀川町	約120名	12月7日	王子製紙株式会社富岡工場	約20名
3月27日	阿南市農薬委員会	約20名	12月29日	富岡地区	約10名
4月8日	阿南消防士会/総会	約20名	2月27日	中野島地区	約30名
4月18日	中野島自主防災組織連絡協議会	約20名	3月5日	日産化学工業株式会社	約40名
6月25日	那賀川町若島自主防災会	約20名	5月17日	那賀川を学ぶ講座	約15名
6月26日	阿南商工会議所	約30名	5月18日	阿南市消防団幹部	約30名
7月13日	那賀川工業用水利水者協議会	約30名	5月31日	那賀川を学ぶ講座	約15名
9月1日	加茂谷中学校	約50名	6月10日	黒津地いまいきクラブ	約15名
9月3日	御堂町/鯉子町	約30名	7月11日	那賀川工業用水利水者協議会	約50名
10月1日	阿南市消防団	約25名	7月15日	大野小学校6年生	約15名
10月6日	阿南工業高等専門学校	約80名	7月16日	善福小学校5年生	約45名
10月29日	富岡地区	約25名	8月30日	那賀川を学ぶ講座	約20名
11月9日	長生地区	約20名	8月30日	深瀬町(町内会)	約25名
11月6日	富岡地区自主防災会	約20名	9月7日	橋本町(町内会)	約30名
11月16日	中野島地区	約20名	9月8日	那賀川を学ぶ講座	約20名
12月14日	阿南南ロータリークラブ	約40名	9月11日	阿波製紙 阿南事業所	約65名
12月15日	那賀町小学校校長会	約15名	9月25日	大野小学校4年生	約20名
12月17日	赤池在所地区自主防災会	約70名	10月28日	善福小学校5年生	約25名
4月12日	那賀町消防団幹部会	約20名	11月19日	中野島小学校4年生と選手勉強会	約40名
6月30日	御堂町自主防災会	約20名	11月21日	徳洲自主防災会	約25名
7月5日	大野小学校	約30名	11月23日	上中野島地区自主防災会 南島のまわり会	約30名
7月17日	那賀川工業用水利水者協議会	約50名	11月28日	中野島地区自主防災組織連絡協議会	約15名
7月18日	加茂谷中学校	約50名	12月8日	那賀川アフターフォーラム	約30名
7月21日	西路見地区自主防災会	約20名	12月24日	株式会社G F	約15名
7月28日	下羽地区自主防災会	約15名	1月23日	坂野町北地区自主防災会	約15名
8月19日	ポランディアスクール	約10名	2月8日	桑野町自主防災会連合会	約55名
9月14日	本庄地区連絡会 いずみの里自主防災会	約20名	3月22日	上中野島地区自主防災会	約20名

令和7年度 取組状況 防災教育に関する出前講座(大野小学校)

四国地整

取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施
【四国地整】

那賀川河川事務所では、7月15日(火)に阿南市立大野小学校6年生、9月25日(木)に阿南市立大野小学校4年生を対象に、防災に関する出前授業を実施しました。

7月の出前授業では「水害リスク」をテーマとして、那賀川で起こった過去の水害の様子や、那賀川流域の特性(日本有数の多雨地帯、台風の通り道など)を紹介した上で、マタイムラインを作成する等の日頃の備えが大切であることを学びました。

また、9月の出前授業では「流域治水」をテーマとして、洪水被害は堤防などの施設だけでは防ぐことが出来ないことや、ゴミの分別や家庭排水の自然環境への影響について理解し、流域住民の皆さんで協力し合う事の大切さを学びました。



マイタイムライン検討ツールの紹介

環境のために自分たちができること



環境保全の為にできる事について紹介



7月15日 阿南市立 大野小学校(6年生)



9月25日 阿南市立 大野小学校(4年生)

令和7年度 取組状況 防災教育に関する出前講座(中野島小学校)

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

- ⑦地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施 【四国地整】

那賀川河川事務所は、11月19日(水)に中野島小学校4年生を対象に、地元業者と連携し、川の仕事に関心を持ってもらうため、流量観測の体験授業を実施しました。子どもたちは実際に川に入り、浮子による流速計算やスタッフによる測量体験を行いました。流域住民の安全と安心を守るための河川事業の取り組みについて学んでいただきました。



水位測量体験



浮子による流量観測体験



水害リスクに関する座学

令和7年度 取組状況 出水期前の流域タイムラインによる洪水対応演習

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(2) 情報伝達、避難計画等に関する事項

- ①想定最大規模降雨による洪水を対象とした避難勧告に着目したタイムラインの作成及び改定 【四国地整】

那賀川河川事務所では、水防担当職員等を対象とした洪水対応演習を、令和7年4月22日に実施しました。演習では、流域タイムラインを基に、那賀川の新庄観測所および桑野川の大原観測所の水位が氾濫危険水位を越え、無堤箇所での溢水や漏水箇所での堤防決壊等、複数箇所の同時決壊を想定して、洪水時の水位予測や、気象台との洪水予報の共同発表、水防警報の発令等、各段階における職員の役割や、実施すべき行動について確認を行いました。

今回のように実践的な演習を実施することにより、本番でも確実に災害対応ができるよう努めていきます。



写真-1 災害対策支部全景



写真-2 災害対策支部の様子



写真-3 災害対策支部の様子

令和7年度 取組状況 出水期前の重要水防箇所の合同巡視

四国地整

■ 取組

2. 洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

(1) 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

②重要水防箇所等について水防団等と共同点検

【阿南市】 【四国地整】

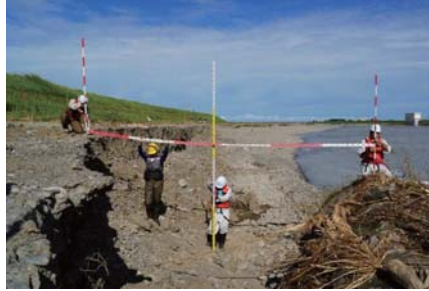
令和7年5月21日に阿南市役所と那賀川河川事務所は水防関係者による重要水防箇所の合同点検を行いました。

マイクロバスで重要水防箇所を巡視し、過去に洪水により被害を受けた箇所については、現地にて担当者による当時の状況説明を交えながら確認を実施しました。

また、各種水防工法についても再確認を行いました。

日頃から各機関で重要水防箇所について周知徹底を図ること、この機に水防に必要な情報交換を行うことで、有事の際の迅速な行動につなげていきます。

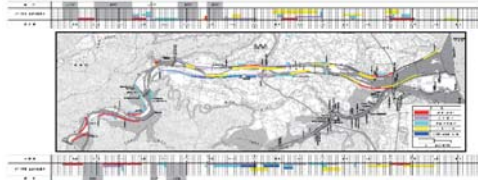
那賀川水系大規模氾濫減災協議会では、引き続き那賀川水系における減災に関する取組を推進するとともに、社会全体で平常時から洪水に備える「水防災意識社会」の再構築を行ってまいります。



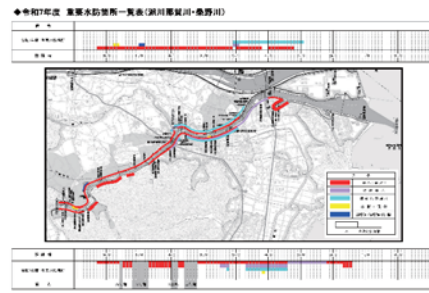
水衝・洗掘箇所の写真(H26年8月)



漏水箇所の写真(H26年8月)



重要水防箇所一覧表(那賀川)



重要水防箇所一覧表(桑野川)



合同巡視の様子

令和7年度 取組状況 出水期前の災害対策用機械の操作訓練

四国地整

■ 取組

3. 社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用等の強化の取組

②排水施設、排水資機材の操作・運用等

【四国地整】

排水ポンプ車等災害対策用機械の操作訓練を令和7年5月21日、令和7年6月20日に実施しました。

豪雨時に堤防の住居地側で浸水被害が発生した場合、現場へ迅速に排水ポンプ車を出動させ排水を行うことで、浸水被害の軽減を図ります。降雨が多くなる出水期(6月～10月)に備え、「排水ポンプ車等」の操作が円滑・迅速に実施できるよう訓練を行いました。

訓練では、排水ポンプ車6台、照明車4台を使用し、排水ホース等の接続作業及び放水作業、照明車における点灯作業等を行い、作業手順及び、異常の有無等を確認しました。

定期的な車両・機器の点検整備に加え訓練を実施することで、万全の状態に備えます。



写真-1 排水ポンプ車訓練状況(5月21日)



写真-2 照明車訓練状況(5月21日)



写真-3 排水ポンプ車訓練状況(6月20日)

令和7年度 取組状況 出水期前の長安ロダム放流に関する周知会

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(1) 平時から住民等へ避難行動のための周知・教育・訓練に関する事項

⑨ 放流に関する周知会の実施

【四国地整】

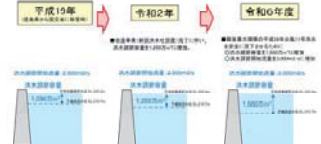
那賀川河川事務所では、洪水期を迎える前に自治体（那賀町・阿南市）、マスコミ（NHK・四国放送・四国放送ラジオ・エフエム徳島・毎日放送）、関係機関（徳島県 県土整備部・阿南警察署・徳島県企業局・阿南市消防本部・加茂谷公民館・各漁協関係者・河川情報センター）を対象に長安ロダムのルールやダムの効果、通知の方法など前年度との変更点などの周知を行いました。



【配布資料抜粋】

操作規則の変更

- 長安ロダムの洪水調節量は、平成18年の最終調整値では1066万m³。
- 令和7年度、貯水水位調整量717万m³に増減。
- 令和8年度に貯水池周辺の観測体制が異なり、本格的なダム管理に移行予定。
- 平成25年度以降1年毎に1回ずつ増減が定まる観測体制が完了し、貯水池周辺の洪水調節が完了（100%）。
- 令和7年度は平成25年度以降1年毎に1回ずつ増減が定まる観測体制が完了し、貯水池周辺の洪水調節が完了（100%）。
- 令和7年度は平成25年度以降1年毎に1回ずつ増減が定まる観測体制が完了し、貯水池周辺の洪水調節が完了（100%）。



【周知会の様子】



令和7年度 取組状況 長安ロダム貯水池での大規模地すべり発生による上下流域への検討

四国地整

■ 取組

1. 円滑かつ迅速な避難行動のための取組

(2) 情報伝達、避難計画等に関する事項

⑦ 洪水時における迅速かつ的確な情報提供等

【四国地整】

令和6年度までの取り組みとして、長安ロダム貯水池（高磯山）で大規模な地すべりが発生した場合における上下流域への影響検討を実施しました。

令和7年度には、貯水池周辺斜面で地すべりの予兆を観測した場合、関係機関（那賀町）との連絡手段や必要な情報について確認を行い、連絡体制を構築しました。

令和8年度以降は、貯水池周辺の地すべりブロックを対象に、想定される被害等の影響について確認を実施します。

■ R7年度時点と今後の取組フロー

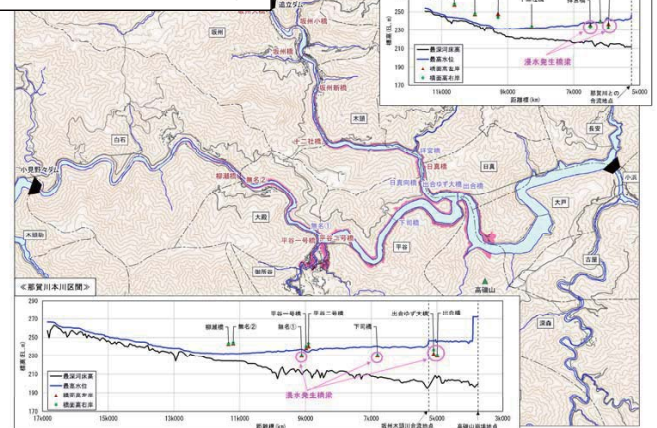
令和7年度

- ダム貯水池で地すべりの予兆を観測した場合の関係機関との連絡体制を構築

令和8年度以降

- ダム貯水池の各地すべりブロック毎において想定される被害について検討

地すべり発生時における流域への影響



【連絡体制について】

- 大規模な地すべりが発生した場合
事務所所長 → 那賀町長（ホットライン）
- 地すべりの予兆が見られた場合
事業計画課長 → 那賀町防災課長
- 連絡手段は、電話やメールによる